

登録コード	SSC10600	開講年度	2026				
授業題目	物性物理化学演習Ⅱ				担当教員	飯山 拓 他	
英文授業名	Exercise of Material and Interfacial Science Ⅱ				副担当	濱崎 亜富・伊藤 冬樹・二村 竜祐	
単位数	4	講義期間	通年	曜日・時限	・不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標		【ディプロマ・ポリシー】			⇔	【授業の達成目標】	
		2 4 SSカリ・理学					
		【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力			⇔	物理化学、吸着科学、界面化学、化学反応を通じて、人類の持続的発展のための問題意識を持つ	
		2 6 SSカリ・理学，2 5 SSカリ・理学					
		【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち，その妥当性を理論的に説明し，議論する能力			⇔	物理化学、吸着科学、界面化学、化学反応を通じて、人類の持続的発展のための問題意識を持つ	
(2)授業の概要		担当教員の専門分野に関係する基本的な原理、実験手法の解説を行い、実習を通して実際に技術を取得する。授業と実習は担当教員ごとに少人数の班に分かれ行う。					
(3)授業のキーワード		物理化学、吸着科学、界面化学、化学反応					
(4)授業計画		第1回：ガイダンス 第2回：吸着現象について（基礎） 第3回：吸着現象について（応用） 第4回：光化学反応について（基礎） 第5回：光化学反応について（応用） 第6回：測定法演習（X線回折） 第7回：測定法演習（紫外可視分光） 第8回：測定法演習（熱測定） 第9回：測定法演習（赤外線吸収） 第10回：プレゼンテーションの基礎 第11回：演習、報告 1 第12回：演習、報告 2 第13回：演習、報告 3 第14回：報告会 第15回：まとめ					
(5)成績評価の方法		勉学に取り組む姿勢や報告会での内容を考慮して総合的に判断する。 欠席回数が一定数を超えた場合は単位を認めない。					
(6)成績評価の基準		秀：授業の達成目標から見て卓越している。 優：授業の達成目標からかなり上にある。 良：授業の達成目標からやや上にある。 可：授業の達成目標の水準にある。 不可(D)：授業の達成目標よりやや下にある。 不可(F)：授業の達成目標よりかなり下にある。					
(7)事前事後学習の内容							
(8)履修上の注意		教員との連絡を密に保ち、学習と実験の進捗状況を随時報告すること。					
(9)質問,相談への対応		随時					
【教科書】							
【参考書】							